

のり海況速報 第11報 (24-11)

平成25年 3月 8日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 3/4：内湾(わかふさ)、内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(2/23-3/8)、東京湾口海況図(2/23-3/8)
 自動観測ブイデータ(2/23-3/8)、拓南観測データ(3/4-8)
 モニタリングポスト(3/4：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】 沖合水の動きに注意。

- ・内湾の表層水温(図1)は平年より約1~2℃低く、ほぼ全域で8~9℃台になっています。塩分は31台後半~32台で、平年よりやや高くなっています。
- ・内房北部の表層水温も平年よりやや低く、10~12℃台になっています(図1)。
- ・内房北部縦断面の水温・塩分の鉛直分布(図2下)では、ノリ漁場沖合(st.10)の水深10m以深に水温13℃以上、塩分34以上の水塊がみられ、6日になると、金谷~久里浜間の表層水温が約3℃上昇していますので、この動きには注意が必要です。

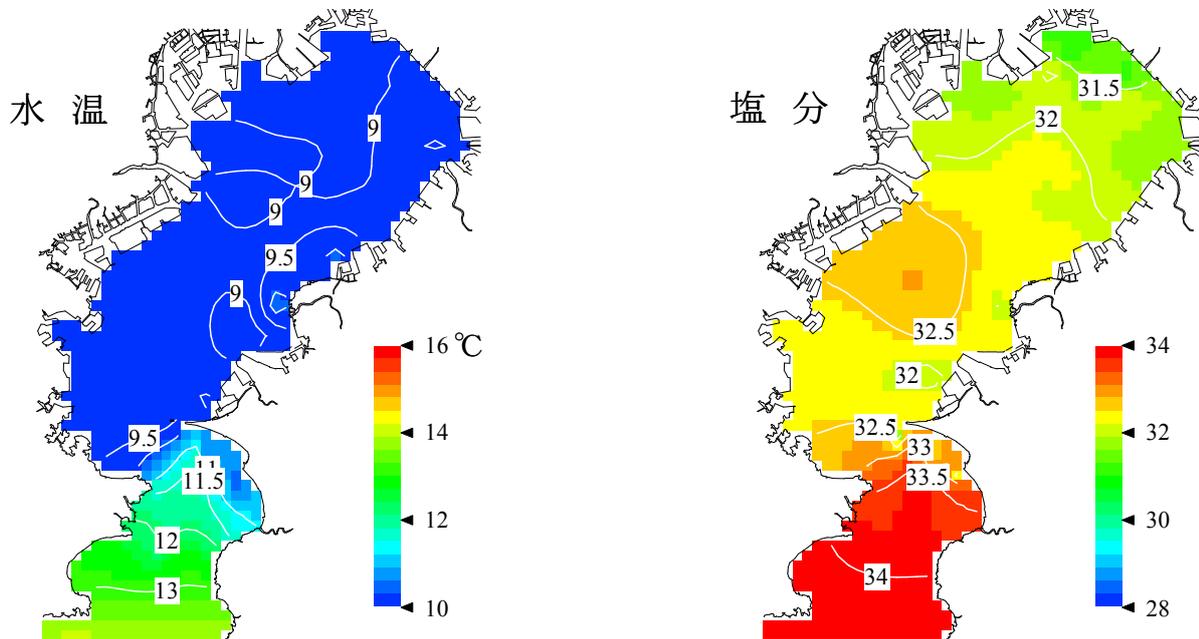


図1 表層の水温・塩分の分布(平成25年 3月 4日)

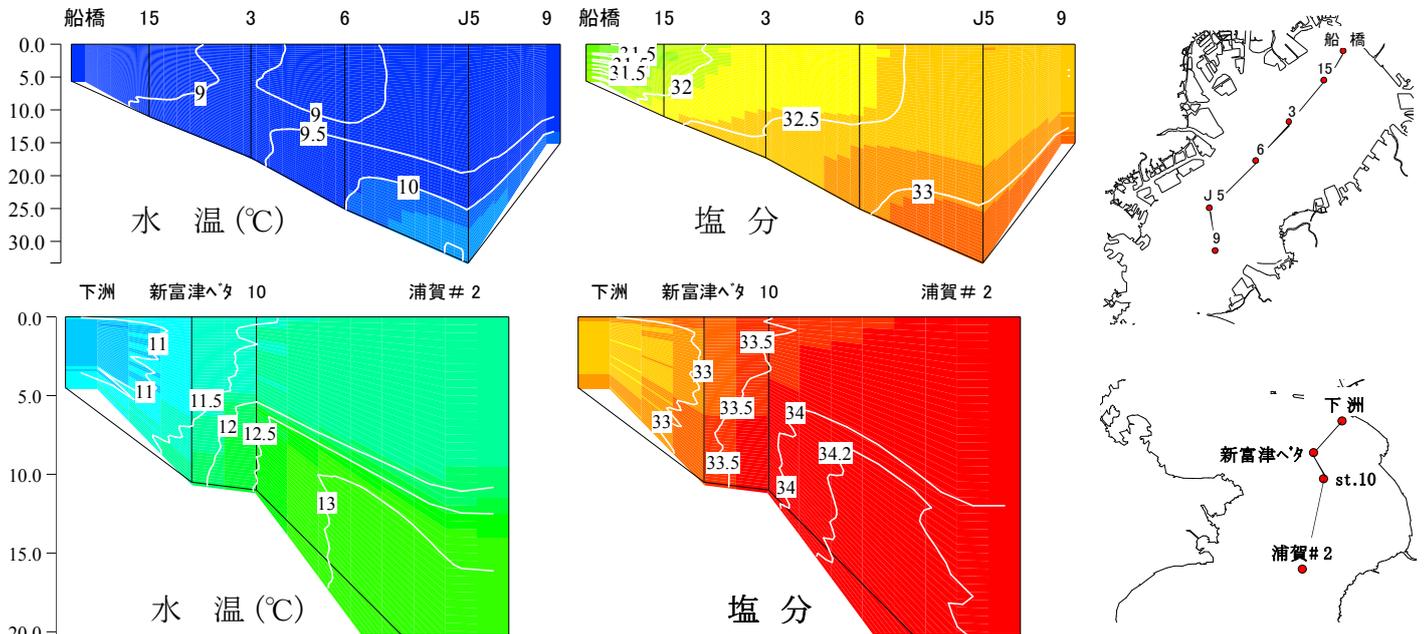


図2 断面の水温・塩分の鉛直分布(平成25年 3月 4日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していません。
- ・プランクトンは少ないが、ケイ藻のディチウムやタラシオシラがみられ、また、ユーカンピアも出現しています。
- ・表層の栄養塩は回復し、窒素(DIN)、リン(DIP)とも十分あります(図3)。各地先のノリ漁場でも十分あり(図4)、現状ではのり養殖にとって問題ない濃度になっています。

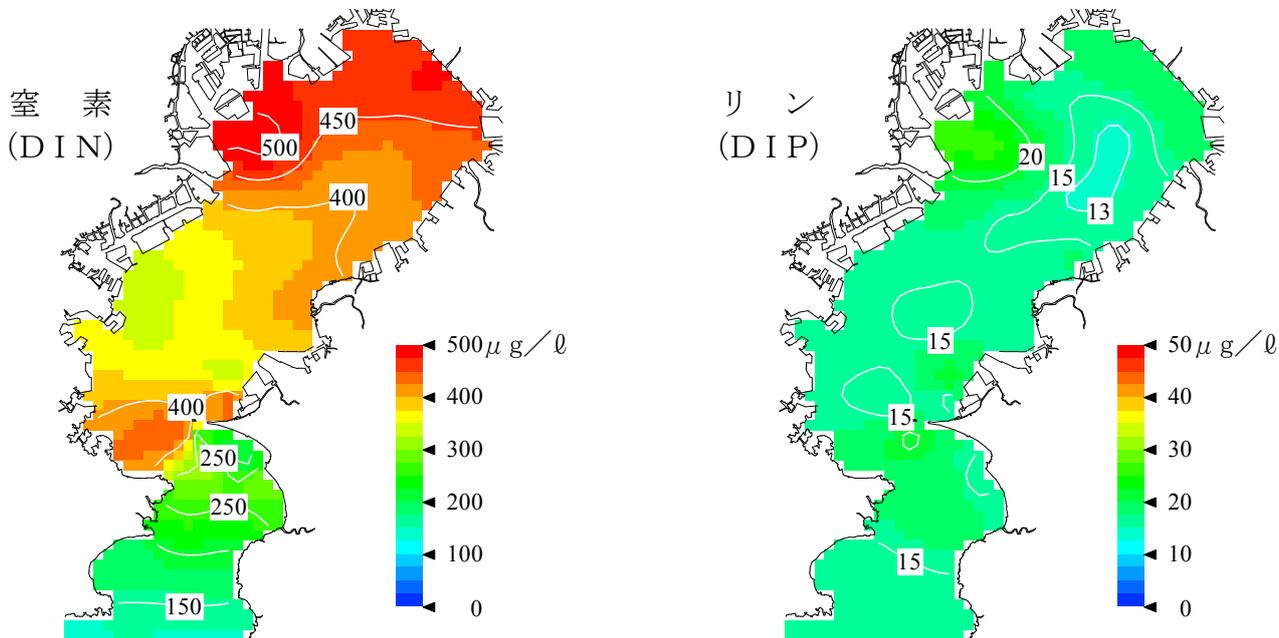


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成25年 3月 4日)

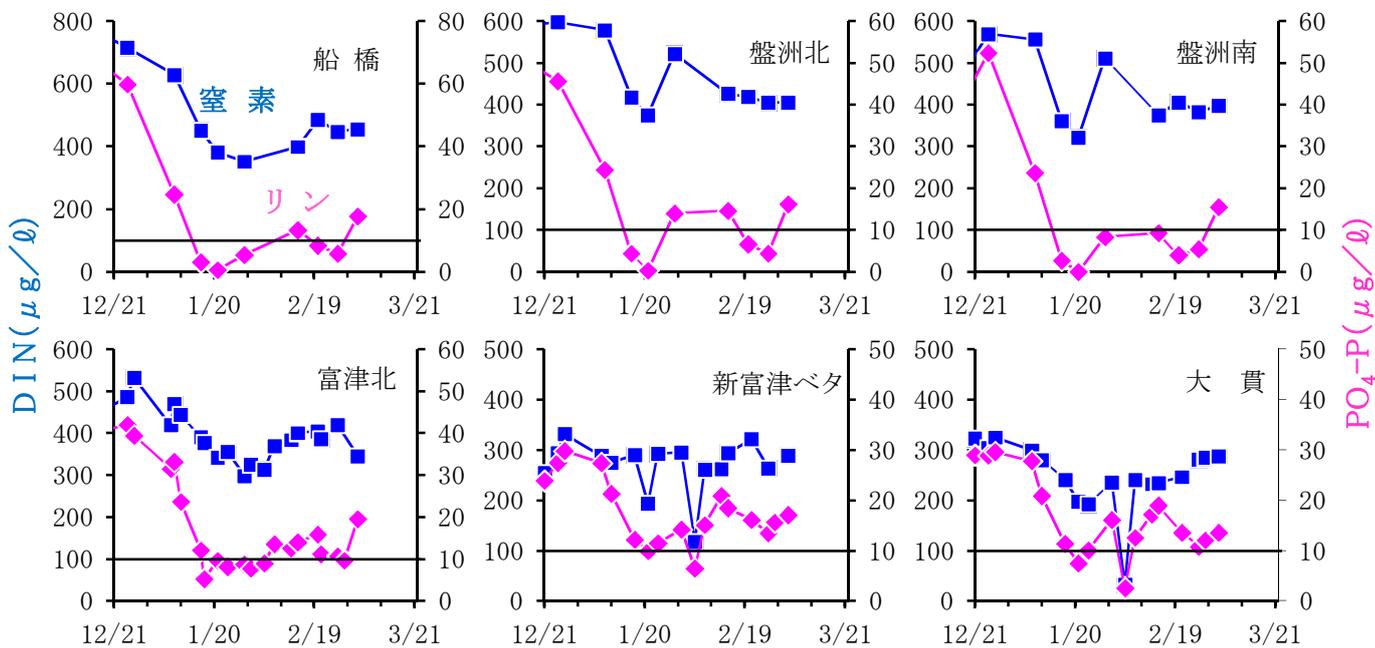


図4 各地先における栄養塩濃度の経過(表層：平成24年12月21日～25年3月 4日)
(図中の横線はノリの色落ちを引き起こすとされる目安の濃度 ■:DIN ◆:PO₄-P)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報しています。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://wwwp.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html